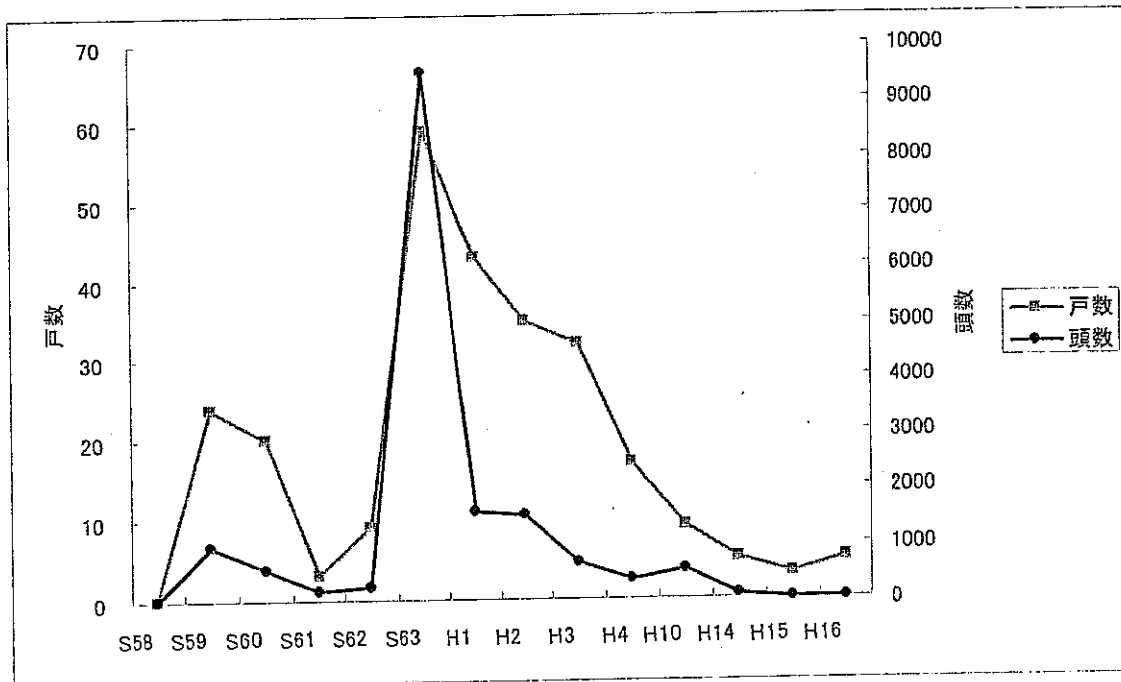


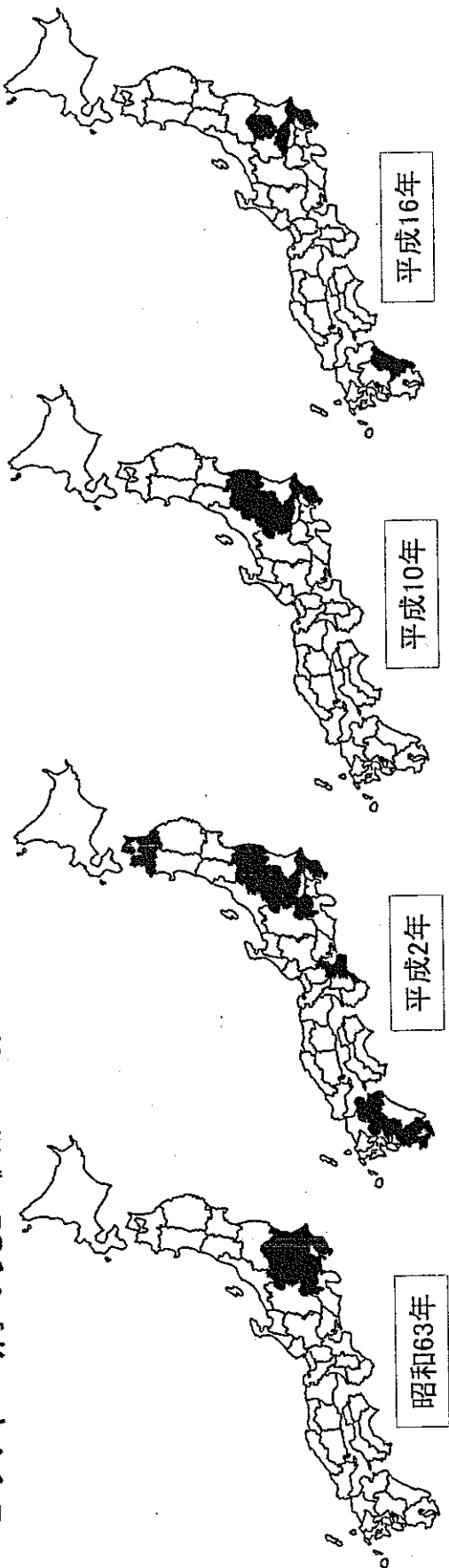
オーエスキー病の防疫対策について

- オーエスキー病の防疫対策は、「オーエスキー病防疫対策要領」（平成3年）に基づき、定期的な抗体検査の実施、野外ウイルス抗体陰性豚の出荷、導入の推進により発生予防と清浄維持を図るとともに、臨床症状を呈している豚及び野外ウイルス抗体陽性豚が確認された場合は早期淘汰の実施により清浄化を推進。また、本病の発生及び浸潤状況が地域により差異があることから地域別に対策を推進。
- オーエスキー病ワクチンは、本病が発生又は浸潤している場合にのみ応用。また、ワクチンの応用により清浄化を図るためには、陽性豚をワクチン抗体陽性豚と識別して摘発・淘汰する必要があることから、ワクチン抗体と野外ウイルス抗体とを識別することができるものを使用。
- 平成16年は、4県で5戸13頭の発生。発生頭数は、昭和63年をピーク（59戸9,491戸）とし、大きく減少したものの、発生県数に大きな変化はなく、一部は常在化の傾向にある。

【オーエスキー病の発生状況】



オースキー病の発生状況の推移



準清浄地域及び清浄化推進地域の推移

(市町村数)

	平成4年	平成6年	平成7年	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年
準清浄地域	67	114	65	68	76	79	78
清浄化推進地域	266	263	334	336	341	332	328

※東北、関東及び九州に限局し、平成16年は16県

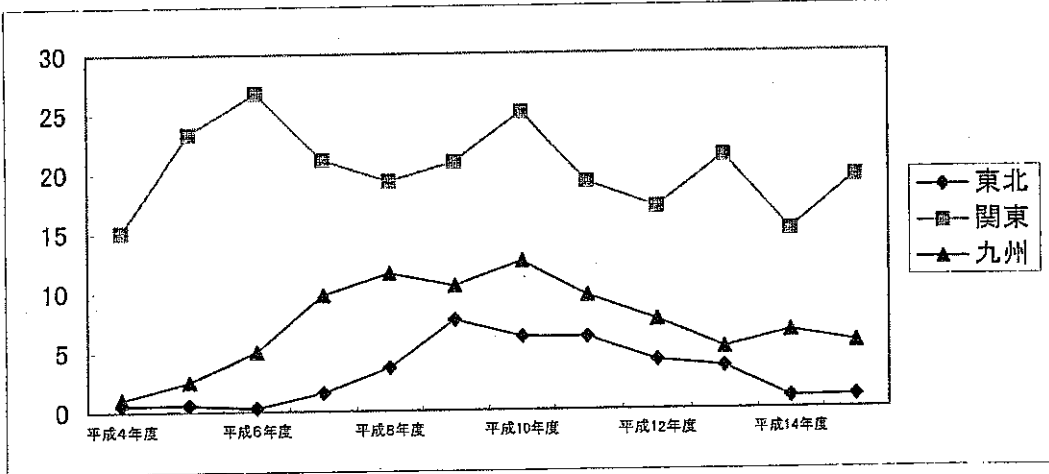
【防疫対策】

清浄地域 発生、抗体陽性過去1年なし	準清浄地域 発生、抗体陽性摘発後1年以内	清浄化推進地域 発生、抗体陽性摘発1年以上
清浄種豚の流通促進		
農場とら汰促進		
ワクチン接種促進		全農場、全頭

オーエスキー病野外ウイルス抗体調査

(1)と畜場検査

	平成13年度		平成14年度		平成15年度	
	検査頭数	陽性率(%)	検査頭数	陽性率(%)	検査頭数	陽性率(%)
北海道	3,862	0.0	2,457	0.0	2,182	0.0
東北	7,846	3.6	8,939	1.0	8,958	1.1
関東	8,381	21.3	8,793	15.1	6,453	19.5
北陸	2,160	0.0	2,230	0.0	2,879	0.0
東海	218	0.0	547	0.0	396	0.0
近畿	290	0.0	313	0.0	310	0.0
中四国	4,899	0.0	2,942	0.0	3,078	0.0
九州	9,991	5.2	11,342	6.5	11,382	5.6
沖縄	0	-	0	-	58	0.0
合計	37,647	6.9	37,563	5.7	35,696	5.6



(2)農場検査

		平成13年度		平成14年度		平成15年度	
		検査頭数	陽性率(%)	検査頭数	陽性率(%)	検査頭数	陽性率(%)
北海道	頭数	2,174	0.0	3,272	0.0	4,565	0.0
	戸数	243	0.0	238	0.0	313	0.0
東北	頭数	27,589	0.4	34,389	0.3	30,035	0.3
	戸数	1,081	2.4	1,220	1.7	911	1.9
関東	頭数	24,826	6.0	29,193	8.8	31,764	9.0
	戸数	1,228	16.9	1,316	22.3	1,391	23.7
北陸	頭数	9,035	0.0	8,687	0.0	8,137	0.0
	戸数	353	0.0	263	0.0	292	0.0
東海	頭数	19,367	0.0	19,277	0.0	19,409	0.0
	戸数	1,360	0.0	1,240	0.0	1,107	0.0
近畿	頭数	3,465	0.0	3,660	0.0	3,236	0.0
	戸数	242	0.0	279	0.0	281	0.0
中四国	頭数	20,853	0.0	22,760	0.0	19,823	0.0
	戸数	533	0.0	662	0.0	585	0.0
九州	頭数	15,950	0.2	27,913	4.2	23,797	1.3
	戸数	970	0.3	2,199	4.5	1,922	2.3
沖縄	頭数	641	0.0	499	0.0	908	0.0
	戸数	63	0.0	33	0.0	38	0.0
合計	頭数	123,900	1.3	149,650	2.6	141,187	2.6
	戸数	6,073	3.9	7,450	5.5	6,840	5.7